

その後の

# 受講生による実践報告会

\*日 時：平成29年5月20日(土)10:00～15:00 (受付開始9:30～)

\*参加費：一般 1,000円

※TEACCHプログラム研究会会員・学生・自閉症協会会員 500円

※H28年度自閉症支援のためのワークショップ5日間集中コース受講者 無料

※強度行動障がい支援者養成研修修了者 無料

\*場 所：北海道教育大学函館校 第1講義室 (予定)

\*定 員：200名(先着順) 定員になり次第締め切らせていただきます。

\*報告者：

幼保連携型認定こども園 浜分こども園：楡井 良子氏

こども園でのASDのお子さんへの支援 ～構造化による支援の重要性～

北海道七飯養護学校おしま学園分校(特別支援学校)：永長 妙子氏

知的に重度の中学部生徒へのコミュニケーション支援 ～構造化とPECSを活用した実践～

デイハウスぽこ・あ・ぽこ(生活介護事業所)：依田 祥平氏

重度の知的障がいを伴う自閉症の方への支援 ～コミュニケーションサンプルの情報を活用した構造化～

ワークセンターほくと(生活介護事業所)：山田 浩史氏

重度の知的障がいの方の一般就労に向けた取り組み ～TAPを活用した支援～

\*コメンテーター：**諏訪 利明氏** 川崎医療福祉大学医療福祉学部准教授

## 主なTEACCH関連の研修歴

- |           |   |
|-----------|---|
| 1989      | 朝日厚生文化事業団主催の自閉症児治療教育プログラム指導者訓練セミナーの東京セミナーに参加  |
| 1992      | ノースカロライナTEACCHプログラム視察旅行参加   |
| 1993～1994 | 朝日厚生文化事業団研修生として、ノースカロライナTEACCHプログラム第2期研修留学生として、アメリカのノースカロライナ州シャーロットTEACCHセンターにて研修を修める |
| 2013～     | 毎年大学院生を引率し TEACCHの訪問ツアーを実施  |
| 2017      | 1月～ TEACCH公認上級コンサルタント資格取得   |

## 主な著書

- 「自閉症療育者～TEACCHプログラムの教育研修～」 財団法人神奈川県児童医療福祉財団  
「自閉症の人たちへの援助システム～TEACCHを日本でいかすには～」 朝日厚生文化事業団  
「発達と障害を考える本1 ふしぎだね!?自閉症のおともだち」 日本発達障害ネットワーク TEACCHプログラム研究会  
「こんなときどうする 発達障害のある子の支援」 ミネルヴァ書房

お問合せ・お申し込み先

発達障害者支援センターあおいそら

\*必要事項をご記入し、下記の連絡先まで、メールまたはFAXでお申し込みください。

E-MAIL：[aoisora@yuai.jp](mailto:aoisora@yuai.jp) / FAX：0138-46-0857

〒041-0802函館市石川町90-7 TEL：0138-46-0851

主催：社会福祉法人侑愛会 共催：あおいそら・TEACCHプログラム研究会・北海道自閉症協会道南分会

後援(予定)：函館市 北斗市 七飯町 北海道教育庁渡島教育局 北海道渡島総合振興局 函館市教育委員会  
北斗市教育委員会 七飯町教育委員会 南北海道知的障がい福祉協会 北海道新聞函館支社 函館新聞社  
函館ローブウェイ(株) FMいるか NCV函館センター (順不同)

「平成28年度自閉症支援のためのワークショップ5日間集中コース」の  
**受講生による実践報告会 申込用紙**

**発達障害者支援センターあおいそら**

\*必要事項をご記入し、下記の連絡先まで、メールまたはFAXでお申し込みください。

**E-MAIL : aoisora@yuai.jp**

**FAX : 0138-46-0857**

申込締め切り：定員になり次第締め切らせていただきます

氏名：	所属：
※当てはまる項目に○を付けてください。(チェックがない場合は、一般料金をいただきます。)	
一般 ・ 学生 ・ TEACCHプログラム研究会会員 ・ 自閉症協会会員 ワークショップ5日間集中コース受講者 ・ 強度行動障がい支援者養成研修修了者	
連絡先：	※受講の可否等のご連絡をさせていただくための連絡先をご記入ください
ご住所	
電話番号：	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
FAX番号：	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
メールアドレス：	